

各会場で熱戦を展開!!

3月10日(日)、第34回少年武道大会(須恵町体育協会主催)が須恵中学校体育館を主会場として行われました。剣道、柔道、なぎなた、拳法道の4競技が行われ、それぞれの武道で腕を磨く小中学生が参加しました。今年は町内外から340人の小中学生が参加し、日ごろの鍛錬の成果を競いました。

大会では、現在持っている力を遺憾なく発揮。試合で負けると、悔しさのあまり、思わず泣き出してしまいう子どももいました。

各会場で熱戦が繰り広げられ、応援席からは大きな声援と拍手が送られていました。



気迫あふれる勝負が続く

長年過ごした学び舎に別れ

3月中旬、町内各小・中学校、幼稚園などで卒業式や卒園式が行われました。卒業生らは、保護者や先生に感謝の気持ちを伝え、友と学び、さまざまな思い出が詰まった学び舎に別れを告げました。

東幼稚園とかやの保育所では、4月にれいんぼー幼児園に移転したため、最後の卒園式となりました。

●卒園・卒業生数

○南幼稚園53人○東幼稚園65人○かやの保育所32人○アザレア幼児園64人○第一小学校110人○第二小学校94人○第三小学校55人○須恵中学校160人○東中学校89人



先生や保護者に感謝の気持ちを込めた合唱

迅速に確実に放水

3月3日(日)、須恵町消防団(安河内正幸団長)による模擬火災訓練が行われました。この訓練は、全国火災予防運動の期間中に、火災発生時の迅速で確実な行動、各分団間の連携強化などを目的に行うものです。

この日の訓練は、南米里区内の一般住宅で火災が発生したとの想定で行われました。火災の発生を知らせるサイレンを合図に、消防車両9台と約120人の団員が出動しました。

現場に到着後、各団員は機敏な行動で水の中継し、火災が発生した想定地点に向け、放水しました。



有事の際に頼もしい存在の消防団

手に汗握る、一進一退の攻防

2月17日(日)、第28回綱引き大会(須恵町体育協会主催)が須恵中学校体育館で行われました。

この大会に行政区や各種団体から37チーム(380人)が参加。会場は、必死の形相で綱を引く選手たちへの大きな声援に包まれていました。

一般男子の部を連覇した乙植木チームは、見事なチームワークとパワーを見せつけました。

大会結果は次のとおりです。(上位3位まで)

- ・一般男子 ①乙植木A ②佐谷A ③甲植木
- ・小学生 ①乙植木 ②佐谷 ③須恵
- ・男女混合 ①乙植木 ②城山 ③須恵
- ・親子男子 ①山の神 ②乙植木 ③城山
- ・親子女子 ①南米里 ②乙植木 ③須恵



手に汗握る決勝戦

第二小がコンクール優良校に選出

平成24年度明るい選挙啓発ポスターコンクール(福岡県選挙管理委員会主催)の団体の部で須恵第二小学校が優良校に選出されました。また、優秀作品に福田清道さん(第二小5年生)の作品が選ばれ、それぞれ表彰されました。

このコンクールは、明るい選挙を呼びかけ、選挙が正しく行われることを目的として、小中学生および高校生を対象に毎年行われているものです。

今回は、県内155校の小学校から7,275人が応募しました。



秦校長と優秀な成績を残した福田清道さん

平成24年度最後の大会も優勝で締めました

2月22日(土)・23(日)に第27回糟屋地区サッカー協会主催卒業生大会(篠栗町ほか・糟屋地区20チーム参加)が、また、3月16日(土)・17日(日)に第11回志免町長杯少年サッカー大会(志免町・県内18チーム参加)が、それぞれ開催されました。各大会に出場した須恵アザレアFC(有働幸生監督)が、見事連続優勝を果たしました。

印藤真コーチは「サッカー少年からサッカー選手へと成長する姿を見ることができて、幸せな1年間でした。本当にありがとう。5年生以下の選手みんな、先輩たちが叶えることができなかった夢を実現させるためにがんばりましょう。」と話されていました。



「心ひとつ」にがんばりました